

平成20年度事業報告及び収支決算について

平成20年度事業報告

(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

社団法人高知県森と緑の会は、一般会計による「緑化関連事業」、特別会計による「緑の募金事業」について実施した。

平成20年度に開催された会議の概要は次のとおりである。平成20年12月からの新公益法人制度に基づく公益社団法人への移行について臨時総会を開催した。

総会及び理事会等の実施状況

行事名	月日・場所	出席者	審議事項及び議決事項
監査	H20/4/24 午後 事務所	監事 2名	平成19年度事業報告及び収支決算の監査について
運営 協議会	H20/4/28 13:30～16:00 四国森林管理局	委員 全14名 出席 11名 委任状 2名 役員出席 1名 (理事長)	1. 平成19年度緑の募金特別会計事業報告及び収支決算について 2. 平成20年度緑の募金特別会計事業計画(案)及び収支予算(案)について その他 ・緑の募金感謝状の贈呈について
通常 理事会	H20/5/12 14:00～16:30 四国森林管理局	理事 全14名 出席 8名 書面表決 2名 監事 出席 2名	1. 通常総会の招集について 2. 平成19年度事業報告及び収支決算について 3. 平成20年度事業計画(案)及び収支予算(案)について 4. 役員の承認について 5. 平成20年度短期借入金限度額について
通常 総会	H20/5/29 三翠園	会員 全82名 出席 7名 代理 15名 委任状 59名 出席役員理事9名 監事1名	1. 平成19年度事業報告及び収支決算について 2. 平成20年度事業計画及び収支予算について 3. 役員の承認について 4. 平成20年度短期借入金限度額について
臨時 理事会 ①	H20/6/10 16:00～17:00 四国森林管理局	理事 全14名 出席 13名 代理 1名 監事 出席 1名	1. 理事長の選任について 2. 副理事長及び専務理事の選任について その他 ・新役員への高知県森と緑の会事業や課題の説明 ・緑の募金の取り組みについて

臨 時 理 事 会 (書面) ②	H20/7/24 16:00～17:15 (社)高知県山 林協会	理 事 全14名 出席 3名 書面表決 11名	1. 平成20年第Ⅱ期緑の募金地区・支部実施事業に ついて 報告事項 春期募金の集計結果、特定公益法人への 移行について
臨 時 理 事 会 ③	H20/8/21 10:00～12:00 四国森林管 理局	理 事 全14名 出席 10名 監 事 出席 1名	緊急動議 社団法人高知県森と緑の会が公益社団法 人へ移行することについて その他 報告事項 春募金の結果、秋募金の取り組み 他
臨 時 理 事 会 ④	H20/12/15 15:30～17:45 四国森林管 理局	理 事 全14名 出席 13名 書面表決 1名 監 事 出席 2名	1. 平成20年度補正収支予算について 2. 県証紙売りさばき人の指定を受けることの是非につ いて 3. 公益社団法人への移行の定款変更の案について 4. 臨時総会の招集について
臨 時 總 会	H21/1/15 三翠園	会 員 全82名 出席 5名 代理 6名 委任状 61名 出席役員 8名	1. 公益社団法人への移行の定款変更の案について
運 営 協 議 会	H21/2/6 13:30～17:00 四国森林管 理局	委 員 全14名 出席 10名 委任状 4名 役員出席 2名 (理事長・専務理事)	1. 平成20年緑の募金実績報告 2. 平成21年緑の募金目標額について 3. 平成21年度緑の募金特別会計事業計画について
臨 時 理 事 会 ⑤	H21/2/17 15:30～17:45 四国森林管 理局	理 事 全14名 出席 10名 書面表決 3名 監 事 出席 1名	1. 平成20年度緑の募金特別会計補正収支予算につ いて 2. 平成21年緑の募金目標額について 3. 平成21年度緑の募金公募事業について

(1. 第1号議案、2. 第2号議案、3. 第3号議案、4. 第4号議案、5. 第5号議案の略)

第1 一般会計

高知県、市町村、四国森林管理局・署、地区森と緑の会、市町村支部、各ボランティア団体など森林や林業などの関係機関・団体と連携・協力して、森づくりやみどりを守り育てるための事業を展開した。

1 緑化推進事業

(1) 緑化推進事業（直接事業）

① 森林の整備や緑化の推進のための活動に対する幅広い県民の理解と協力を得るため、

普及用ポスターを配布。育樹ポスター（6月）は200枚で市町村及び会員に、緑化ポスター（2月）は600枚購入して市町村教育委員会を通じて県下の全小・中学校へも配布した。

- ② 四国の森づくり実行委員会の1構成団体として、11月1日・2日開催の「四国の山の日 in こうち」の調整会議に出席するとともに、3つの分科会のうちの森林環境教育分科会を主担して実施した。（「四国山の日 in こうち」団体交付金：30千円）
- ③ 全国で100人が認定される森の名手・名人に、高知県から推薦した2名が認定され、四国山の日イベント会場で認定証の授与を行った。

（2）国土緑化推進機構委託事業

（社）国土緑化推進機構が公募した「先駆的先導的森づくりボランティア活動支援事業」に対して、募集・選考等の委託事務を行った。（高知県で2団体が採用された。）

（3）国土緑化推進機構等公募事業

① 企画展「木のおもちゃの魅力」事業

「木育」活動を推進するために、木のおもちゃのよさを広く普及するために、オリジナルパネルを作成し、木のおもちゃの体験コーナーと併設した企画展をサニーマートに協力をいただいて3店舗で実施した。((財)日本木材総合情報センター「木育活動促進助成事業」補助金86千円(1/2助成))

② 森の幼稚園推進事業

乳幼児期の森（自然）の中でのさまざまな体験は、人が生まれながらに持っている感性を磨き、危険予知能力や体力、コミュニケーション能力、協力する力をはぐくむことが知られており、「森のようちえん」として全国的にも導入の動きが進んでいる。森林率84%の高知県は、山川海など多様な自然が身近にあり、自然を活かした教育に適した環境を有していること、また、小さいときから森や自然に親しむことで森林や樹木、緑を大切にする心が育まれることが期待できることから、「森のようちえん」を高知県に広めていく目的で、先進的に取り組んでいる北海道から講師を招き、11月8日にフォーラムを高知市鏡吉原で開催するとともに、2月にフィールドの一部となる雑木林に入る道を整備するなどして、子どもたちを受け入れるための環境づくりを行った。（「緑の募金中央公募事業」：700千円、一部執行残を平成21年度へ繰り越し）

③ 阿佐っ子シカの食害対策事業

11月11日、ここ数年前からシカによる食害が進行している高知県物部川と徳島県那賀川の源流域にある剣山一三嶺系の森において、両県の流域の中学生がその問題を直視し、自分達ができる食害対策活動（樹幹へのネット巻き）を行い、森の大切さや森川海のつながりを交流しながら学んだ。徳島県の「(社)とくしま森とみどりの会」に協力いただいての初の両県共同のシカの食害対策事業。香美市大栃中学校全校生徒

43名と徳島県は那賀郡那賀町立那賀中学校3年生15名が参加。（「緑の募金中央公募事業」：500千円）

（4）支部活動費（活性化事業）

高知県森と緑の会の業務を実施する上で必要な事業費や事務費を、求めに応じて次の3支部に支出した。

- ・香美市支部（事業資料・支部総会資料・募金チラシ等作成・送付 50千円）
- ・本山町支部（緑に関する絵画コンクール開催 49千円）
- ・土佐市支部（「ふれあいフェスタ in とさ city」にて苗木50本の配布と緑の募金の普及・啓発 50千円）

（5）地区基盤整備事業

- ・20年度は、地区森と緑の会事務局を県（林業事務所）から外部に移管した事例はなかった。
- ・県（林業事務所）以外に事務局を置いている安芸地区、伊野地区、須崎地区に地区基盤整備事務費として事務費を支出した。（各50千円）

（6）緑の募金推進体制整備

- ・6地区で県林業事務所が主催する市町村と森林組合の担当者会に出向いて、緑の募金の趣旨、目的、制度等について説明し、募金活動についての理解と協力を求めた。
- ・6市町村の県地域支援企画員に対して、緑の募金制度とその活用方法を説明した。
- ・春期と秋期の各募金期間中に全市町村を訪問し、協力要請を行った。
- ・量販店での展示や量販店で実施される環境保全活動のキャンペーンに参加して普及啓発活動を行った。

2 緑と水の森林基金事業（森林基金事業）

（1）緑と水の会ネットワーク事業

県内8ヶ所に結成された緑と水の会の活動を促進することを目的とする事業。

- ① 前年度繰越金を活用してネットワーク代表・事務局長会議を開催すると共に、ネットワークだよりを作成して関係者に配布した。
平成20年度も継続して行い、各会に事務費の補助を行った。また、特色ある取り組みを行っている次の2団体の事業を助成した。
- ② 安芸緑と水の会：平成18・19年度緑と水の森林基金事業で整備した安芸市東山公園に道路案内標識を設置し、利用の促進を図った。また、この公園整備が縁で伊尾木小学校の環境学習を実施し、子ども達が炭焼き体験や森川海のつながりを学んだ。
- ③ 幡多緑と水の会：地元の人にも知られていない幡多郡黒潮町の名所となり得る「播鉢轟の滝」への遊歩道を整備した。

（2）地域で活動できる森林ボランティア養成事業（前年度繰越）

地域のリーダーとなって森林環境教育などの活動ができる人材の育成を行った。

- ① ボランティアで行える食害対策として防護柵がある。そのシカ食害防護ネット設置技術を学び、今後の活動のリーダーとなれる人材を育成した。
- ② 間伐材でつくる遊具として人気の高いツリーハウスの指導者を養成するための講座を2回実施した。地域のリーダーとなりうる森林ボランティアを対象として募集し、高知県東部（香美市土佐山田町森林総合センター里山）と西部（高岡郡四万十町米奥小学校）でツリーハウスを作成した。西部地域では特に学校とPTAが協力して、実践しながらの講座となった。

（3）青少年森林環境学習事業

青少年が森林や緑の大切さ、森川海のつながりを学ぶための森林環境学習を行った。

- ① 奈半利中学校2年生29名が、11月11日のこうち山の日に間伐や枝打ち作業を地域住民との交流の中で実施した。
- ② 香南市立岸本小学校（海）と南国市立奈路小学校（山）が、海山交流行事として海を訪れて交流し、森や山の大切さを学習し、地引網体験を共に行うことで、森川海のつながりを学んだ。
- ③ 樹木の名前を調べることを通して緑の大切さを知るための取り組みとして、
 - ・香南市の野市幼稚園児は、園庭に樹木の名札つけ
 - ・高知市立初月小学校放課後児童クラブは、高知市中央公園で木の名前に親しむことと合わせて樹木博士の認定を行った。

（4）若者発土佐材販売促進普及啓発企画事業

高知大学生が主体となって企画・運営して実施した木造建築や林業、木材について学ぶ6泊7日（8月22日～28日）の宿泊型セミナーで、2年目となる。

現在、木造建築を学ぶ場は少なく、山に入り林業を学ぶ機会も少ない。このことに問題意識を持った高知大学生が中心となって、高知県北部の林業の名産地の嶺北で実際に森に入り林業を学ぶと同時に、高知県を代表する現役の設計士による木造建築を学ぶセミナーを実施した。参加者は県内外大学生・社会人10人に加えて県立高知工業高等学校学生5人と引率者1人が参加した。今回は新たに高校生が参加し、大学生等とともに学ぶことができた（当会負担額：1,000千円）

（5）地域の森・巨樹・古木活性化事業

地域の人々が親しめる身近な森を活性化するために、県内3ヶ所で整備作業を行った。

- ① 高岡郡四万十町では、地域の巨樹や古木等116本を調査し冊子を作成し、これを機に、旧窪川と旧大正・十和エリアに分けて2回の巨木巡りツアーを行った
- ② 宿毛市では、平田町戸内久礼の川で、自生の腐朽が進んでいる高知県一の白椿（市の天然記念物）を救うため、周辺の土壤改良と腐朽の進行を抑える処理（防菌剤の塗布）

等を行った。

③ 豊多郡三原村では、三原自然公園をつつじの公園として整備するため、雑木の除去やシダの刈り払い、ヤマザクラ、自生ツツジの保全のための整備と、キツツジ100本の植栽を行った。

(6) 学校環境緑化モデル事業

「学校環境緑化モデル事業」に採用された高知市立一宮東小学校緑化事業（ビオトープ整備とその周辺へ植樹で緑の環境の整備）の進達事務や関係機関等との調整作業を行った。（助成金=500千円・単年度事業）

3 県補助事業

高知県が、「こうち山の日」の制定趣旨に基づき森林環境税を活用して実施している2つの公募事業について、平成19年度に続き20年度も当会が県から補助金の交付を受けて、募集、企画選定委員会の設置・開催、補助金の交付決定、現地取材・ホームページを使っての広報、事業実施に関わる助言、実績報告の審査・額の確定及び助成金交付、完了検査、実績のとりまとめ等を行った。

(1) こうち山の日推進事業

応募は23団体から28件の応募があり、うち、19団体22件が採用され、「こうち山の日」の推進・普及啓発のための事業が県内各地域で企画・実施された。

（5, 351千円。うち3, 788千円は補助事業者への補助金）

平成20年度こうち山の日推進事業実績一覧表

（単位：円）

番号	市町村	実施団体名	事業名	参加者数	実績	
					事業費	補助金額
1	高知市	(社)高知県山林協会	舟入川の源流をさぐり、森を守ろう	101	142,255	142,000
2	高知市	(社)高知県山林協会	ネイチャーゲームによる「森の弁当箱」	37	110,298	95,000
3	高知市	高知県ネイチャーゲーム協会	ネイチャーゲーム自然学校 in カルスト2008	20	268,727	200,000
4	高知市	十津小学校区青少年育成協議会	山の仕事と生活から地球の未来を考える(おやこふれあい林間学校)	60	273,250	151,000
5	高知市	高知県キャンプ協会	いの町伊吹山ブナ林・瓶ヶ森体感森林教室	32	145,617	130,000
6	香美市	高知県森林インストラクター会	①梅原久保谷コードの野生きのこと自然散策 ②天狗高原の自然ヒセラピーロード散策	60	356,662	200,000
7	香美市	情報交流館ネットワーク	福留さん郷里で語る秋の特別講演会 “地図をまもるため我々ができることは?”	130	200,334	200,000
8	香美市	情報交流館ネットワーク	ふれあい大法寺の森で学ぼう知ろう森のこと	30	123,135	123,000
9	香美市	三嶺の森をまもるみんなの会	「木にネットを巻く」それは自分たちでできること シカ食害防止活動に参加しませんか!!	52	165,328	165,000

10	高知市	甫喜ヶ峰森林公園ネイチャーゲームの会	シンポジウム「ネイチャーゲームで広がる世界・ネイチャーゲームで何ができるか」	31	202,352	197,000
11	高知市	甫喜ヶ峰森林公園ネイチャーゲームの会	地域ネイチャーゲーム教室	58	304,887	150,000
12	高知市	農家直売所地場の郷“太陽市”吉原グループ	鏡吉原地区の竹林整備と体験及び竹利用方法	39	280,350	200,000
13	大豊町	立川体験交流の会	「森のエコと不思議 何かを作ろう」山の暮らし今昔パートIII	32	205,715	175,000
14	本山町	本山町南部椎茸生産組合	「れいほく山の恵み」まるごと体験祭2008	46	397,817	187,000
15	土佐市	青少年育成土佐市民会議山の手地区協議会	三世代で木に親しむ活動の基地作り	40	200,315	185,000
16	いの町	NPO法人土佐の森・救援隊	「森からみる限界集落！」シンポジウム	120	170,660	170,000
17	いの町	本川村森の案内人クラブ	こども昆虫博士あつまれ	40	203,922	196,000
18	いの町	いの町観光協会	~いの町ペーぱーツーリズム事業~楮と土佐和紙を知ろう！	97	170,838	170,000
19	四万十町	四万十町立米奥小学校PTA	間伐材を使って井戸小屋と大型木製遊具を完成する	213	200,000	200,000
20	津野町	堂好海「せいらん」	第5回 ふなと四万十源流ウォーキング	150	480,950	200,000
21	津野町	あかいこの会	自然体験パート5	112	237,269	170,000
22	黒潮町	野の手仕事仲間たち	間伐材を使ったマイ箸コンテスト	203	222,000	182,000
合 計				1,703	5,062,681	3,788,000

(2) 山の一日先生派遣事業

6 地域で公募したところ、安芸地域では申請がなく全部で4団体5地域（中央地域では2団体）の採用となった。それぞれが特色のある事業を学校や学童保育等で実施した。申請のなかった安芸地域についても、要請があった学校等において、他地域での実施団体が対応した。

（4, 181千円。うち、2, 993千円は補助事業者への補助金）

平成20年度山の一日先生派遣事業実績一覧表

(単位：円)

事業区分	地域区分	実施団体名	実 績	
			事業費	補助金額
①山の一日先生派遣事業	安 芸	応募なし	0	0
	中央東	社団法人高知県山林協会	1,060,758	968,000
	中央東	情報交流館ネットワーク	1,015,249	1,000,000
	中央西	社団法人高知県山林協会	289,446	289,000
	嶺 北	NPO法人土佐さめうら観光協会「道の駅さめうら」	200,700	200,000
	須 崎	津野町森の拠点づくり運営委員会	318,615	318,000
	幡 多	社団法人高知県山林協会	218,982	218,000
合 計			3,103,750	2,993,000

4 委託事業

(1) ウェディングフォレスト運営事業

三翠園からの委託事業で第9回目。今回は、植樹地を高知市鏡吉原に移して初めての開催。地元山吹会の協力を得て、11月3日に実施した。参加者100組（うち当日参加は40組）全員の名前を記載した間伐材で作成した木の看板を設置した。

既に植樹されている「いの町ほどの」に関しては、下草刈り等の管理を行った。

(2) 高知県森林学会事務局事業（単年度）

第59回森林学会関西支部、日本森林技術協会関西・四国支部連合会合同大会が、平成20年度は高知県が開催県に当たり、県、日本森林学会関西支部（高知大学等）等が運営委員会を結成して、10月17日・18日に開催した。当会は事務局として書類の作成、受付・発送、問い合わせへの対応等日常的な業務を受託して行った。

5 その他の事業（一般管理費分）

(1) (社) 国土緑化推進機構総会への出席（東京）

(2) 全国緑化推進員会連絡協議会関係会議への出席（東京）

ア 全国緑化推進委員会連絡協議会全体会及びブロック別会議

イ 全国緑化推進委員会連絡協議会総会

(3) 緑の少年団連盟総会への出席

(4) 第57回中国・四国地区緑化推進委員会連絡協議会総会への出席（徳島県徳島市）

(5) 正会員・賛助会員の拡大に向けた取り組み

広報誌（季刊）の発行・会員等への送付する等当会の取り組みに関する広報をより幅広い形で継続した。厳しい経済状況の中、正会員は減少したが、賛助会員については、役員等の協力もあり増につながった。

（平成20年度末の会員数）

正会員数82（20年度2減）

賛助会員89（70団体19個人）（20年度14増（団体8、個人6））

第2 緑の募金特別会計

平成20年の募金の実績は、過去最低であった平成19年度に比べて120万円程減少した。その要因としては、

- ① 平成20年後半の世界的不景気の影響
- ② 当会並びに緑の募金の知名度が未だ低いこと
- ③ 募金推進体制の整備が十分でないこと
- ④ 森林環境税との棲み分けの不確さ

などがあげられる。このため、事業規模の縮小や事業そのものの実施を控えるなどして経費の節減に努めた。

1 緑の募金実績（平成20年1月～12月実績）

20年募金合計	13,328,511円	（対前年度比 94.4%）
内訳	家庭募金	5,632,647円（対前年度比 96.7%）
	街頭募金	291,226円（対前年度比 81.9%）
	職場募金	1,512,353円（対前年度比 100.1%）
	企業募金	4,919,499円（対前年度比 94.3%）
	学校募金	11,455円（対前年度比 87.1%）
	その他	961,331円（対前年度比 79.7%）

* 詳細は次ページ表を参照願います。

2 緑の募金交付金事業

（1）一般公募事業

県内の法人、ボランティアグループ、団体等が行う森林の整備や緑化の推進に関する事業に対して、緑の募金を原資として助成を行った。（詳細は15～17ページ一覧表参照）

- ・森林の整備事業 7団体 7件 合計 1,126千円
- 1団体 1件 合計 409千円（21年分公募の20年度対応分）
- ・緑化の推進事業 15団体 15件 合計 2,578千円

（2）地区森と緑の会・森と緑の会市町村支部実施事業

地区森と緑の会・市町村支部が行う事業は、公募事業に準じて取り扱っている（上限額20万円）。2地区森と緑の会及び3市町村支部からの6件の申請があり全てが採用された。（詳細は一覧表17ページ参照）

- ・地区森と緑の会 2地区 2件 合計 364千円
- ・森と緑の会市町村支部 3支部 4件 合計 219千円

平成20年緑の募金集計表(平成20年1月～12月)

支部募金

市町村名	家庭	街頭	職場	企業	学校	その他	合計	昨年総計	
東洋町	0	0	20,000	0	0	0	20,000	17,000	118%
室戸市	0	0	56,400	0	0	2,389	58,789	69,871	84%
奈半利町	0	0	10,991	5,000	0	0	15,991	5,845	274%
田野町	0	0	0	0	0	855	855	0	#DIV/0!
安田町	0	0	8,457	0	0	0	8,457	2,847	297%
北川村	465	0	14,387	0	0	0	14,852	11,521	129%
馬路村	0	0	10,680	0	0	10,976	21,656	11,162	194%
安芸市	0	0	21,872	0	0	0	21,872	40,086	55%
芸西村	111,300	0	0	0	0	1,271	112,571	104,738	107%
香南市	0	0	121,042	0	0	4,260	125,302	181,953	69%
香美市	1,598,870	4,583	16,391	0	0	0	1,619,844	1,776,534	91%
高知市	12,410	0	253,824	0	0	15,941	282,175	265,948	106%
南国市	0	0	96,762	0	0	7,130	103,892	68,712	151%
大豊町	0	0	0	0	2,000	0	2,000	35,000	6%
本山町	379,300	0	0	0	0	368	379,668	394,380	96%
土佐町	231,572	0	0	0	0	0	231,572	191,769	121%
大川村	51,100	0	3,495	0	0	0	54,595	53,046	103%
土佐市	0	11,055	0	0	0	3,000	14,055	5,510	255%
いの町	0	0	69,011	0	0	4,800	73,811	43,331	170%
仁淀川町	0	0	2,915	0	0	0	2,915	0	#DIV/0!
佐川町	1,072,754	0	32,136	0	0	0	1,104,890	1,178,024	94%
越知町	718,400	0	0	0	0	0	718,400	722,100	99%
日高村	100,000	0	0	0	0	0	100,000	100,000	100%
須崎市	0	0	70,550	0	0	1,714	72,264	94,292	77%
中土佐町	354,696	0	0	0	0	0	354,696	378,966	94%
四万十町	505,600	0	0	0	0	2,235	507,835	432,570	117%
津野町	212,650	0	0	0	0	2,956	215,606	207,260	104%
檍原町	150,030	0	2,100	0	0	0	152,130	194,697	78%
黒潮町	0	0	590	0	0	0	590	4,705	13%
大月町	0	0	23,000	0	0	0	23,000	20,028	115%
三原村	0	0	0	0	0	55,658	55,658	17,560	317%
四万十市	0	0	3,054	0	0	0	3,054	2,347	130%
宿毛市	0	0	14,080	0	0	0	14,080	35,000	40%
土佐清水市	0	0	72,273	0	0	4,590	76,863	83,660	92%
合計	5,499,147	15,638	924,010	5,000	2,000	118,143	6,563,938	6,750,462	
昨年総計	5,706,163	43,027	914,436	0	0	86,836	6,750,462	97.2%	

地区募金

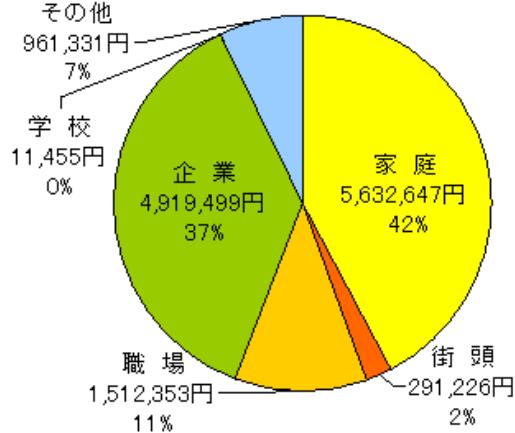
地区名	家庭	街頭	職場	企業	学校	その他	合計	昨年総計	
安芸	9,000	0	40,274	284,500	0	20,000	353,774	399,817	88%
中央	82,500	0	143,655	616,689	0	19,066	861,910	911,686	95%
嶺北	10,000	0	16,431	82,000	0	10,000	118,431	164,387	72%
伊野	0	0	28,258	661,000	0	0	689,258	733,717	94%
須崎	7,000	0	29,071	506,000	3,455	3,000	548,526	553,425	99%
中村	25,000	0	9,576	341,500	0	8,447	384,523	584,223	66%
小計	133,500	0	267,265	2,491,689	3,455	60,513	2,956,422	3,347,255	3,347,255
昨年総計	116,200	0	293,573	2,790,100	5,027	142,355	3,347,255	88.3%	

本部募金

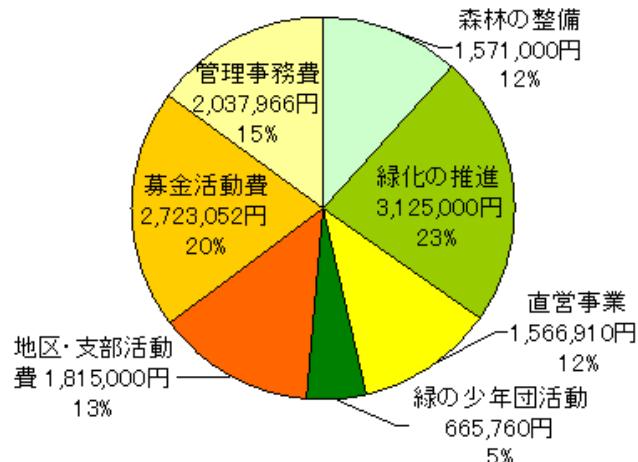
家庭	街頭	職場	企業	学校	その他	合計	昨年総計	
本部	0	275,588	321,078	2,422,810	6,000	782,675	3,808,151	4,027,035
昨年総計	0	312,463	302,439	2,426,357	8,123	977,653	4,027,035	94.6%

家庭	街頭	職場	企業	学校	その他	合計	昨年総計	
合計	5,632,647	291,226	1,512,353	4,919,499	11,455	961,331	13,328,511	94.4%
昨年総計	5,822,363	355,490	1,510,448	5,216,457	13,150	1,206,844	14,124,752	
合計昨年同期比	96.7%	81.9%	100.1%	94.3%	87.1%	79.7%	94.4%	

【収入】平成20年 緑の募金種別内訳
募金総額 13,328,511円
 (平成20年1月1日～平成20年12月31日)



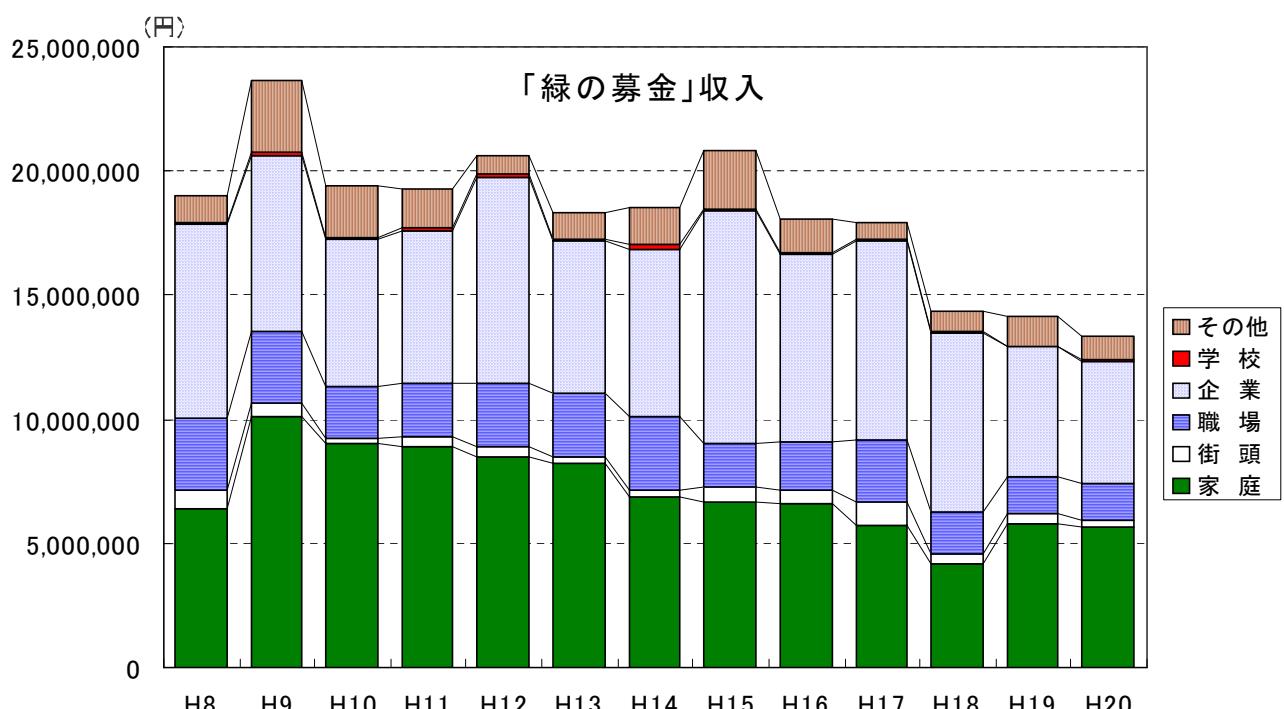
【支出】平成20年度 緑の募金特別会計事業支出内訳
13,504,688円 *中央公募事業を含む
 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)



■平成8年～20年「緑の募金」収入

集計は、1～12月

年	家庭	街頭	職場	企業	学校	その他	合計
平成8年	6,400,667	722,142	2,924,071	7,786,847	66,213	1,133,121	19,033,061
平成9年	10,092,134	548,390	2,904,200	7,061,432	144,944	2,886,573	23,637,673
平成10年	9,001,097	197,784	2,150,166	5,906,998	83,477	2,065,507	19,405,029
平成11年	8,880,391	395,836	2,199,036	6,122,519	115,524	1,542,761	19,256,067
平成12年	8,523,551	360,052	2,589,541	8,274,607	116,818	765,784	20,630,353
平成13年	8,208,732	283,900	2,589,013	6,122,160	79,032	1,032,649	18,315,486
平成14年	6,861,080	276,919	2,941,673	6,789,442	169,854	1,516,580	18,555,548
平成15年	6,700,389	597,710	1,700,390	9,381,063	90,910	2,364,641	20,835,103
平成16年	6,587,139	527,069	1,962,348	7,555,822	104,893	1,327,914	18,065,185
平成17年	5,742,372	913,585	2,531,350	7,994,778	80,212	683,010	17,945,307
平成18年	4,147,770	416,912	1,671,454	7,274,477	300	841,688	14,352,601
平成19年	5,822,363	355,490	1,510,448	5,216,457	13,150	1,206,844	14,124,752
平成20年	5,632,647	291,226	1,512,353	4,919,499	11,455	961,331	13,328,511



平成20年度緑の募金公募事業実績一覧表

番号	地区	事業名	団体名	実施場所	事業概要	団体の所在地	実績額	交付決定額
----	----	-----	-----	------	------	--------	-----	-------

【森林の整備】

1	安芸	妙見山森林復元事業	(新) 共生森の会	安芸市穴内スス原「妙見山」(実施場所は市有林)	「妙見山」の森林を復元し、市民の森林体験活動の場としての整備を進め、未来に役立つ「千年の森づくり」を行う。10月19日、ケヤキや赤松、ブナ等10種類156本を植樹。その前後に2ヶ月かけ、会員延べ71人役で草刈りや植樹場所の抜開、シカ避け柵の設置を行った。	安芸市	100,000	130,000
2	中央東	ふれあい21世紀の森づくり事業(継続)	情報交流館ネットワーク	香美市①香北町西川民有林、②物部町別府山国有林、③ヒカリ石国有林	森・川・海の連携による流域再生の取り組み・連携を更に強固なものにするため、海に関わる人々に呼びかけ、流域住民と関連団体が一体となって森づくり活動を行った。①クヌギ400本の植樹、②抜開と地拵え、③間伐体験パツツア。延べ参加人数103人。	香美市	257,000	350,000
3	中央東	千本松原次世代継承プロジェクト	千本松原の松を守り育てる住民の会	高知市千松公園	種崎地区千本松原の再生・活性化を目指すため、クロマツへの木炭散布や草刈りなどの保育を行った(37回、うち2回は町内ボランティアと実施(5月27人、11月35人が参加)。また、20年度は作業だけでなく、11月25日に県の専門家を呼んで黒松育樹勉強会を地域で行った(15名で実施)。	高知市	98,000	98,000
4	中央東	おおなろ野外活動の森づくり(継続)	おおなろ野外活動の森づくり実行委員会	高知市おおなろの森	大人から子どもまでが自由に森の中を散策できるよう、7月と9月に地域住民が中心となって下刈りと間伐を実施した。午後は児童への自然の良さの普及活動を行うためクラフト体験教室とネイチャーゲームを実施した。	高知市	76,000	76,000
5	中央東	総合福祉施設ヘリオス裏山歩道開設・環境整備事業	(新) 社会福祉法人ふるさと会	総合福祉施設ヘリオス裏山	地元住民や入所者の健康増進、入所者と地域住民との交流を図るための森づくりや環境整備を行う計画であったが、環境問題に敏感な浦戸湾地区で、保安林であったため、県の事業計画の承認に時間がかかり、年度内の実施が不可能となり、中止となった。	高知市	中止	400,000
6	中央東	鏡桜の里づくり事業	高知県緑サポーター会	高知市鏡地区	18年度から3年間高知桜ライオンズクラブと共に実行してきた事業の最終年度。高知市鏡地区において四季の変化に富む里作りを進め、交流人口の拡大を図り、地域の活性化を図るために、吉原公民館に至る県道や公民館周辺に、11月9日に地元を含め参加者52名で、桜やモミジ等253本を植樹した。	高知市	320,000	320,000
7	嶺北	行川流域森林整備事業	白髪山・行川観光保勝会	本山町白髪山登山口から約9kmまでの基幹道路から行川までの森林および河畔林	河川(行川)の景観を確保し、森林と河川の組み合わされた空間の魅力を引き出すため、春と秋に、整備の遅れた基幹道路から河畔林までの雑木林の間伐や草刈り等の手入れを行った。	本山町	138,000	184,000
8	須崎	四万十流域間伐推進事業	四万十樵塾	四万十町(旧大正町)市ノ又ふれあいの森	四万十川流域において、四万十森林管理署と協定を締結し、ボランティア団体の間伐活動の場として提供された「市ノ又ふれあいの森」16haのうち、1.1haの間伐を、31日間、延べ102名で実施した。	四万十町	137,000	140,000
9	幡多	高森山(四万十市トンボ公園奥)整備事業	幡多緑と水の会	四万十市トンボ公園西高森山	都市と田舎の住民の交流を促進することを目的に、四万十市トンボ公園のシンボルともいえる高森山を年2回整備する計画であったが、予定していた実施場所が別の活動や作業に使用されたため、中止とした。	黒潮町	中止	30,000
20年度	安芸	【平成21年度募集・採用】松林再生事業	(新) 脇地常会	室戸市元脇地(国道55線沿い北側の山林(延長約470m))	かつて元脇地海岸一帯には黒松が植えられ、防風・防潮林として保護されていたが、国道55線建設時に伐採され、保安林の指定も解除された。この度、防災・環境・景観保護の観点から松林の再生が行われることになり、3月22日に地域住民等90名が参加して850本の抵抗性クロマツを植栽した。	室戸市	409,000	476,000
8団体8件 (予定:10団体10件)							1,535,000	2,204,000

平成20年度緑の募金公募事業実績一覧表

【緑化の推進】

1	中央東	「高知子ども森林インストラクター養成講座」(第8期)/H15.18、19)	高知子ども森林インストラクター養成講座運営委員会	主に情報交流館(香美市)、しもなの郷(仁淀川町)、橋原町森林組合等	子ども達の森林に対する理解を深め、学校や地域の森林学習におけるリーダーを養成するために、8回の定期講座及び番外編(キャンプを含む)を行った。内容は「森林環境・生態」と「木の有効利用」に関するもので、前後に座学を行なながら体験型の講座を実施した。	香美市	300,000	300,000
2	中央東	地球環境時代の森林の保全・再生	(新)四万十・流域圏学会	①高知県森林総合センター②物部川及び源流域の森林(上垂生川)	第8回四万十・流域圏学会・学術研究発表会(2007)において、地球環境時代の森林の保全・再生がテーマとされ、若い世代も交えた市民公開セミナーの開催と物部川流域の森林の視察とおして、河川環境と森林の関係を考え、(人の)関わり方や(改善の)方策を認識(議論)した。	香美市	221,000	239,000
3	中央東	緑豊かな地域づくりを通じて、山や緑の大切さへの認識を深めていこう!	(新)松本地区自治会	①間伐材切り出し:香美市物部町「紫翠園」②③花壇作成:南国市金地	香美市土佐山田町松本地区住民(子ども達の参加がポイント)が、山間部に住む人々(香美市物部町庄谷相の塩の道香美市保存会や地元の人々)と交流し、松本地区「お大師堂」の公園整備として間伐材(実施に材料を山から伐り出した)の花壇を共同で作成した。	香美市	350,000	350,000
4	中央東	自然にふれあうネイチャークラフト教室開催事業	ネイチャークラフト研究会	香美市甫喜ヶ峰森林公園	自然の素材を使い季節感のあるオリジナルネイチャークラフト作品を作ることをとおし、自然の大切さを体感し、五感や生きる力を育むことを目的に、6月(ドングリとカブトムシ)、8月(夏休み木工クラフト)、11月(どんぐりのネイチャークラフト)に実施。毎回ほぼ30名が参加した。	高知市	96,000	100,000
5	中央東	夏休み親子森林体験教室(継続)	高知県林業改良普及協会	香美市甫喜ヶ峰森林公園	夏休みに親子で、自然に親しみながら森林の役割や樹木等について理解を深め、豊かな情操と森林愛護の思想を培うため、県立甫喜ヶ峰森林公園で樹木観察や標本作り、木炭と七輪を使っての陶芸体験を実施。30名が参加した。	高知市	75,000	75,000
6	中央東	朝倉中学校里山づくり(公募は4年目)	高知市立朝倉中学校PTA	高知市立朝倉中学校	広葉樹(花、実、紅葉)を植樹し、学校周辺に多様な生物が生息できる環境をつくる。PTA、生徒、地域が協力して植樹活動を行うことで、森林環境や地域を大切にする心を育てる里山づくり活動。5年事業の最終年で、整備に55名、記念植樹に65名が参加し、生徒が110本を植樹した。	高知市	170,000	170,000
7	中央東	秦山の竹林と友達になろう会	秦山の竹林と友達になろう会	高知市中秦泉寺字秦山並びに周辺の竹林	「ふるさと秦山を取り巻く文化的かつ環境的な役割、竹の生育や活用の方法について、延べ120人の参加者が、子どもたちの体験活動や地元の人々との作業、現地調査やタケノコ取り、間伐、竹炭作業をとおして学んだ。	高知市	54,000	60,000
8	中央東	第7回秦里山まつり	秦里山まつり実行委員会	高知市秦山	11月2日に高知市里山条例により第1号指定された『秦山』で約800人が参加して、竹細工や竹遊具の手作り体験、竹炭づくりを実習するなど、子どもから高齢者まで地域住民が里山に親しみ、森と自然を大切にする意識の高揚を図ることを目的とした第7回秦里山まつりを実施した。	高知市	90,000	90,000
9	中央東	市街地でも体験できる児童への緑化普及啓発事業	高知緑と水の会	高知市高知城公園	子ども達が「森・樹・水・動植物・自然との関わり」について身近(高知城公園)で気軽に体験できる森林学習のシステムを作るため、興味を深め体験型学習を促すパンフレットを作成した。これにより野外学習を実施するための環境づくりができた。	高知市	200,000	200,000
10	嶺北	吉野地域美化事業	(新)吉野ふれあい花壇	本山町吉野	地域の女性グループが主体となり、吉野地区の一斎清掃や道路に面する山際の雑木除去作業、草引き作業、地区内の道路沿いの除草作業等を行っている。この事業の一環で春季及び秋季における鑑賞花の植栽を5月16日と11月10日の2回行った。	本山町	80,000	80,000
11	中央西	バイオ資源で地球を救おう!(四国でのつべんからMOTTAINAIを発信!)	土佐の森・救援隊	いの町本川長沢	次世代の環境保全を担うべき小学生に、もったいない運動を身近に楽しみつつ理解し、バイオ資源の利活用に関する課題について学んでもらうために、間伐や植樹、森林環境学習、木工、プランツ等の見学・視察等(林間学校)を8月2日・3日に行った。	いの町	206,000	206,000

平成20年度緑の募金公募事業実績一覧表

12	中央西	自然体験－木で遊ぶ	横倉山自然の森博物館友の会	越知町立桐見川小学校(休校中)	休校中の山の学校で、地域住民を交えて、木のスプレー・木箱等を作りながら、木の特徴や材としての使い方を学んだ。また竹で炊飯や器づくりを行い、地域の自然や動物の話を聞いた。大人17名と子ども24名が体験活動や地域との交流を通して緑の大切さを学んだ。	越知町	174,000	174,000
13	須崎	平成20年度四万十川環境問題を考える若武者育成プロジェクト	(新)WZF若武者絶対増やす実行委員会	高岡郡四万十町大正と下津井、幡多郡黒潮町浮津	森と川と海の自然を体験することで、それらのつながりについて理解を深め、環境問題を自らが考え、行動する人材を増やすために、2泊3日で地域の歴史や文化、四万十川の水の学習、間伐体験等を、高校生24名が企画運営し、一般参加者26名(+教師6名)で行った。	四万十町	222,000	222,000
14	須崎	森と水のふれあい教室	母なる大地四万十の郷	高岡郡(幡東、四万十中央、大正町、窪川町、須崎地区)	母なる大地四万十の郷、水と森を考える事業の一環として、一般の多くの人々に木とのふれあいをもつてもらい、木のもつ良さ、森林のもつ重要性や役割を理解してもらうため、須崎・幡東・窪川・四万十中央・大正各森林組合が苗木の無料配布や木工教室を7~11月の間に実施した。	四万十町	210,000	210,000
15	幡多	つづじの植樹	(新)土佐清水ライオンズクラブ	土佐清水市総合公園内	当クラブの事業である「小学生の為のセミナー(1泊2日)」を市内小学校に募集をかけ、参加者38名で実施した。その1日目(5月17日)に、土佐清水総合公園でツツジ250本の植樹体験を行った。この公園を緑地公園の憩いの場として広く利用してもらえるよう整備ができた。	土佐清水市	130,000	130,000
15団体15件 (予定:15団体15件)							2,578,000	2,606,000

【地区・支部実施事業】

1	中央東	香美市体験林業教室 [第Ⅰ期] 緑化の推進	(社)高知県森と緑の会 香美市支部	①香美市立大宮小学校、②香美市市有林	香美市立大宮小学校を対象に、体験等を通じて、森林と林業に关心を持たせるとともに、郷土の森への愛着を深めさせ、地域林業の振興を図るため、体験林業教室を2回実施した。①小学校で講話と実験(39名)、②香美市香北町谷相香美市有林で間伐(39名)	中央東	19,000	200,000
2	嶺北	汗見川河畔林整備事業 [第Ⅰ期] 森林の整備	(社)高知県森と緑の会 本山町支部	本山町汗見川流域の河畔林	渓谷美に優れ、春は川岸のキシツツジ等県内外から親しまれている汗見川で、上下流域の交流の場を確保するため、河畔林整備(針葉樹から広葉樹への樹種転換)を実施した場所の下草刈りを延べ4回18名で実施した。	嶺北	36,000	95,000
3	安芸	松原地区松林環境整備事業 [第Ⅱ期] 緑化の推進	(社)高知県森と緑の会 芸西村支部	芸西村松原地区海岸沿いの松林	近年松枯れが進む昔からの名所の松林で、その景観美と機能の回復と向上を図り、支部の緑の環境整備につなげるため、抵抗性マツクイムシ病の黒松苗を12月14日に住民ボランティア25名で400本植樹した。昨年度の500本植樹に続くもので、植栽面積の拡大と植栽密度を補った。	安芸	105,000	117,000
4	嶺北	森林の恵み再発見事業 [第Ⅱ期] 緑化の推進	(社)高知県森と緑の会 本山町支部	森林教室:本山町沢ヶ内地区絵画作成:嶺北中学校／展示:嶺北中央病院受付ロビー	本山町内中学生25名が林業従事者と意見交換や森林産物(葛細工)とのふれあいを11月27日に実施。また、森林や自然を題材に嶺北中学校の授業で20名が絵画を作成し、嶺北中央病院に1週間展示。子どもたちに、町の基幹産業である林業(森林)を身近に感じ、森林等を再認識する機会を設けることができた。	嶺北	59,000	197,000
5	中央西	汗見山公園づくり植栽事業 [第Ⅱ期] 緑化の推進	(社)高知県森と緑の会 伊野地区森と緑の会	いの町枝川汗見山	いの町汗見公園づくりとして、「こうち山の日」にセンダイヤザクラ20本(2.50m)を、36名(地元アセビ会、中央西林業事務所職員等)で植樹した。植樹前に草刈及び雑木の除去等地拵えを実施、あわせて上方の40年生ヒノキ林0.3haの間伐を実施した。	伊野	164,000	199,000
6	須崎	須崎地区管内緑化推進事業 [第Ⅱ期] 緑化の推進	(社)高知県森と緑の会 須崎地区森と緑の会	須崎地区森と緑の会管内	須崎地区森と緑の会管内において、身近な自然を愛する心を育むことを目的として、地域住民等が公園等に植樹する苗木を須崎林業事務所管内の12ヶ所に205本配布した(須崎市9ヶ所、中土佐町1ヶ所、津野町1ヶ所、四万十町1ヶ所)。	須崎	200,000	200,000
5団体6件(予定:5団体6件)							583,000	1,008,000

公募事業 合計

4,696,000 5,818,000

3 緑の少年団育成推進事業（実績：666千円）

地域のリーダー的な存在となる高知県内の緑の少年団を育成した。

- ①（社）高知県子ども会連合会に助成し、緑の少年団としての素養を高めるためのリーダー研修会での講習、全国緑の少年団大会（平成20年度は福島県開催）への参加、春・秋の街頭募金への参加等が行なわれた。
- ②徳島県との交流行事（3年目）として、吉野川下流の徳島県子ども達と上流の高知県の子ども達が、森や水の大切さを学ぶために、早明浦ダムや本山町汗見川流域で8月7～8日の1泊2日の交流事業を行った。

4 直営事業

厳しい募金の収入状況から、支出の削減は直営事業の実施を控えることで対応した。

（1）地域森林整備事業（継続）（実績：99千円）

平成21年3月20日、嶺北森林管理署（四国森林管理局）と協定を結んでいる「ふれあい2000年の森（いの町（旧本川地区）葛籠谷黒滝山国有林）」で整備作業と交流事業を行った。5年間の協定期間が終了し、平成26年度までの期間更新を行った。

（2）木のおもちゃにふれあう事業（継続）（実績：90千円）

情操教育や五感を通じて木の良さ（暖かさや優しさ等）を感じ取ってもらうことを目的に、県下の保育所や幼稚園等に6セットの木のおもちゃを3ヶ月間貸し出す前事業を実施した。夏に第2期の募集を行ったが、周知が弱かったため希望が少なく平成21年2月で配達を終えた。（平成21年度早々に第3期募集として県下の全保育園・幼稚園に案内状を発送）

特に今年度は、須崎市において市内11保育園に緑の募金箱を設置していただけることになり、これに伴い募金を活用した事業として最も目に見えやすい形の木のおもちゃセットを1ヶ月間全保育園に貸し出し、保護者や先生方に緑の募金に対して理解と協力を得られるよう努めた。

（3）都市緑化整備事業（実績：324千円）

緑の募金に賛同をいただいている量販店において、レジ袋削減により節約できた経費を緑の募金への寄付を原資に、レジ袋削減運動の趣旨（緑の大切さの普及、地球温暖化の防止、ゴミの削減等消費者の環境意識の向上等）を伝える取り組みとして、高知市長浜での植樹とミニ環境学習、野市小学校エコクラブのゴミ処理施設見学とミニ環境学習とマイ箸づくり体験等を実施した。また、企画展としてこの運動の趣旨を伝えるパネルの展示を、12月22日から5日間サニーアクシスの店で実施し、期間中（23日）に体験コーナー（間伐材を使うミニ門松作り）も設けた。

（4）樹木医セミナー事業（実績：439千円）

高知県緑サポーター会が企画・運営し、日本樹木医会高知県支部の樹木医や高知大学

教授等を講師として1シリーズ6回の講座を高知市で行った。このセミナーは6回の講座のうち、5回以上受講すると(財)日本緑化センター「緑サポーター」に登録できる資格が得られるものであり、受講生28名のうち21名がその資格を得た。

(5) 緑化推進普及事業 (実績: 617千円)

① 地域住民の植樹活動への苗木の支援 (14ヶ所)

市町村支部や高知県を経由して要望の寄せられた14箇所の地域等をあげて取り組んでいる活動に対して、642本(最少3本~最多80本)の苗木の配布等の支援を行った。希望は桜が多く、桜の里づくり(高知市行川、四万十町数神と金上野、梼原町井の谷、いの町小川柳野等)に取り組む地域が多い。

他) ツバキ…佐川町加茂 クロマツとウバメガシ…中土佐町笹場

ケヤキ…四万十町影野 ※ 募金への協力の大きい市町村に配慮した。

② 植樹行事の実施

募金をいただいた会社(オートクラフト60')と団体(トサヨガ)といっしょに植樹を行い、緑の募金が緑につながることを実際に体験していただいた。

5 緑の募金活動推進事業

(1) 緑の募金活動

① 高知市中央公園周辺での春と秋の街頭募金活動

関係行政機関・団体等の参加を得て緑の募金の街頭募金を実施した。合わせて、募金テントを設置して緑の募金のPRと募金への協力を要請したが、一般の人の関心は低く、厳しい経済情勢も影響して、募金額は前年度に比べて減少した。

* 協力は、四国森林管理局、高知県森林部、緑の協力員、緑の少年団(高知県子ども会連合会)緑の募金公募事業の実施団体などのボランティアグループ及び当会理事、運営協議会委員等のみなさん。

ア) 春の街頭募金:「第36回高知市みどりの週間」行事

日 程: 平成20年4月12日(土)~14日(月) (13日に街頭募金を実施)

場 所: 公園及び周辺(3ヶ所に分かれて実施)

協 力: 43名(越知町、香美市、高知市等の公募事業団体協力)

募金額: 90千円(平成19年度春は103千円)

その他: 子ども向け体験教室として「竹とんぼ」「森の万華鏡」「マイ箸」作り等を実施

イ) 秋の街頭募金:「2008都市緑化祭」

日 程: 平成20年10月11日(土)~13日(月・祝) (11、12日に街頭募金を実施)

場 所: 公園及び周辺(1日目は従来どおり3ヶ所で実施。2日目はよさこい鳴子踊り3チームの協力のもと、公園内で実施。)

協 力: 60名(土佐清水市、室戸市、四万十高校生、本山町等の公募事業団体協力)

募金額: 105千円(平成19年度秋は95千円)

その他: 子ども向け体験教室として「竹とんぼ」「万華鏡」「木の実の壁掛け」作り等を実施

② イベント・行事における街頭募金活動

街頭募金活動として、各種イベントに出向いて緑の募金箱を設置し、協力を呼びかけた。（四国山の日 in 高知、刃物まつり、物部川川祭り、高知もくもくランド 2009 等）

(2) 広報・PR活動

① 募金事業の広告

- ・春秋の緑の募金のPRを高知消費者新聞に掲出
- ・緑の募金に関する広告を高知新聞に掲出
- ・30・40歳女性をターゲットとして、高知新聞折り込みフリーペーパー「K+」（毎月最終金曜日発行）に、切り口を変えた内容を提案いただき6回の掲載を行った。

② 広報誌の発行

広報誌「森と緑の会だより」を、「2008年夏号」（4千部）、「秋号」（8千部）、「冬号」（4千部）、「2009春号」（8千部）の4回発行し、特色のある公募事業の内容や直営事業などを掲載して、当会の活動や緑の募金の広報に努めた。

秋号は、高知商工会議所の会の協力を得て商工関係者に3,300部を配布した。

③ ホームページの活用

当会の取り組み、緑の募金（寄付者の紹介を含む）、各種イベントの案内、募集（公募事業等）、歳事の情報を随時更新して公開し、積極的な情報発信に努めた。

(3) 表彰状及び感謝状の贈呈

平成20年度通常総会にて、募金活動貢献者や高額募金者（企業・団体計15）、（社）国土緑化推進機構理事長、高知県知事、理事長の感謝状をそれぞれ贈呈した。また、個人からも平成21年2月に募金をいただき、その場で感謝状を贈呈した。

(4) 募金拡大に向けた取り組み

① 支部に対する取り組み強化

ア) 依頼の巡回訪問

秋期と春期に全市町村を訪問し、募金への理解と協力を求めるとともに、取り組みの強化を要請した。平成20年は緑の募金ゼロの市町村が解消した。

イ) 支部活動費の3割還元の試行

平成20年度は試行的に、支部活動費として申請のあった支部に緑の募金実績額の3割還付することとした（申請のない支部へは従来どおり1割の還付とした）。7市町村から還付の申請があり、その資金で各支部が次の事業を実施した。

- ・香美市：市内15地区への桜の苗木の配布（383千円）
- ・本山町：帰全公園のシャクナゲ再生のための環境整備と移植（113千円）
- ・土佐町：土佐さめうらクリーンセンターへのケヤキ植樹（69千円）
- ・佐川町：牧野公園のリニューアル整備、桜の植樹と雑木伐採（294千円）

- ・越知町：憩いの場づくりを目的とする団体及び個人への苗木の配布（150千円）
- ・津野町：町内への桜の苗木の配布（64千円）
- ・四万十町：日本の水場88選・興津自然公園の松林の保全と環境整備（148千円）

② 協力企業との連携

ア) 緑の募金自動販売機

昨年度に引き続き、ダイドードリンコ、四国キヤンティーン、岸田サービスが自動販売機の売り上げの一部を緑の募金に寄附するという取り組みを、関係機関等の協力をも得て行った。

イ) NCB緑の募金カード

NCB緑の募金カード会員には、ダイレクトメール送付の際に当会の広報誌や案内パンフレットを同封いただく等、緑の募金のPRに協力をいただいた。

ウ) ハーティカード

サニーマートポイントカード「ハーティカード」で緑の募金に寄付をしていただけるような仕組み（ボタン）をポイント還元の機器に組み込んでいただいた。

エ) 車検1台につき500円の緑の募金

高知市春野町「オートクラフト60'」から、車検した車1台につき500円の募金を春と秋にいただいた。（緑化推進普及事業：県立甫喜ヶ峰森林公園で植樹活動）

オ) 緑の募金箱設置

平成21年3月31日現在の主な緑の募金箱設置店舗等は次のとおり。

- | | |
|------------------|-------------------------|
| ・量販店 11社 | ・コンビニエンスストア、ホームセンター等 5社 |
| ・金融機関等 5社 | ・ホテル 3社 |
| ・高知市町内会連合会事務局に常設 | ・須崎市内全保育園 |
| | ・大学 2校 |
| | ・春期は高知市のふれあいセンター10ヶ所に設置 |

③ ダイレクトメールの本部発送

地区森と緑の会で確認した名簿搭載の企業等に、本部から春と秋にダイレクトメールを発送した（発送数は次のとおり）。

安芸750通、中央1, 212通、嶺北95通、伊野700通、須崎658通、
中村320通 合計3, 735通

④ 募金資材の配布と活用

ア) 緑の募金活動を促進するため、パンフレット、緑の羽根、花の種、木の募金箱を、市町村支部を中心に適宜配布した。

イ) 横断幕を四国森林管理局正面玄関上方と高知県庁西庁舎に往来の人々に目に付くように掲示した。